

せと環境塾 2013 レポート

光で遊び・光でつくる バームクーヘン

と き：平成 26 年 3 月 16 日（日）午前 9 時 30 分～午後 1 時 30 分

場 所：定光寺野外活動センター

参加者：27 名

講 師：もくもく楽舎 高橋武男さん、ガールスカウト愛知県第 66 団さん

講座の内容

春の森の散策と、光を使ったネイチャーゲーム、そしてバームクーヘンを手作りしました。

<森の探検・ネイチャーゲーム>

まずは森の探検に出発します。

まだ少し寒い森でしたが、ふくらみはじめた木の芽やちょっと早起きしたカナヘビは、もう春の準備万端です。時折聞こえる鳥の声や、イノシシの足跡、そしてリスが松ぼっくりでつくった「エビフライ」は、定光寺の森にいろいろな動物たちが暮らしている証拠です。

また、今回のテーマは『光』、森の散策でも万華鏡や虫めがね、鏡といった光の力を利用するアイテムを使いました。すると・・・いつもの森は不思議な世界に早変わり！新しい森の楽しみかたに、びっくりでした。



<火おこし>

散策から戻ってきた後は、虫めがねを使って、光の力で火をおこしました。当日はよく晴れて、光の力を使うのに絶好のお天気です。丸めた新聞紙に光を集めて行う火おこしにみんな真剣です。同じ新聞紙でも、印刷の多い黒い部分と印刷の少ない白い部分では黒い部分の方がよく火が付きます。黒い色の方が光や熱を集めやすいこと、冬に黒っぽい服を着ることが多い理由もわかりました。

火は、着火剤を使って木炭に移します。光の力でおこした火は、力強く燃え上がり、バームクーヘン作りの準備は万端です。

<バームクーヘン作り>

いよいよバームクーヘン作りです。

まずはバームクーヘンの芯となる竹をよく拭いて、火であぶります。これは竹のもつ油をだすためのもので、この作業によって出来上がったバームクーヘンをとりやすくします。生地は、ホットケーキミックスを使用しました。いつものホットケーキよりもちょっと柔らかめ、バターを加えて風味豊かにします。生地をすこしずつ芯にかけて、火で焼いていきます。生地が垂れないように、焼きむらがないように、竹を回し続けるのがポイントです。きれいな層を出すために少しこんがり焼いていくと、あたりにはいい匂いが広がります。

薄い層を何層も重ねて作るには根気とチームワークが大切です。焼き上げる子どもたちは、まるでお菓子職人のようでした。1時間ほどかけて焼き上げたバームクーヘンは、ほかほか・さくさくに仕上がりました。さっそく食べてみると、バターの香りが口いっぱい広がっていきます。おいしいバームクーヘンにみんな大満足でした。

最後に、みんなで使った炉の掃除をして講座を終えました。



《参加者の感想—アンケート自由記述—》

- 森の散歩を通じて、木の名前や見分け方がわかってよかったです。
- 普段体験できないことを見たり感じたり食べられたことで、見方が変わったと思います。とても良い経験ができました。
- 森の歩き方、楽しみ方を教えてもらえてよかった。
- 虫めがねを使って火をおこせて感動した。
- たのしかった。
- 森の中を散策して木の特徴を覚えてもらったり、知らないことがたくさんありました。みんなで協力して作るバームクーヘンは楽しく作れてよかったです。

